

# 地域の代表者が話し合い、

# 古井新町の「地区防災計画」を策定しました！



地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「**共助の力**」を育む取り組みです。

## ワークショップ1

### 「地区の特性の確認」

#### 地区の強み

- ・住民の年齢層が広く、近所のつながりが強い
- ・町内会の活動が活発
- ・町内会のイベントへの参加率が高い

#### 地区の課題

- ・矢作川の決壊で最大5mの浸水
- ・町内会事務所が水没する危険がある
- ・南海トラフ地震で震度6強の揺れ

## ワークショップ2

### 「災害時の課題の確認」

#### ①避難行動

- ・どこへ避難すればいいの？
- ・けが人や配慮が必要な人の避難はどうすればいいの？

#### ②ライフラインの復旧や備蓄

- ・ライフライン停止時のトイレや食事の方法は？
- ・自宅や避難所には何を備蓄しておけばいいの？

#### ③避難所生活

- ・ペットがいる世帯はどうすればいいの？
- ・避難所での感染症対策はどうすればいいの？

## ワークショップ3・4

### 「防災活動メニューのアイデア出しと企画書の作成」

災害時の課題に対して、防災活動のアイデアを出しました。  
これをもとに5つの防災活動メニューの企画書を作成しました！

企画書の内容は  
裏面へ！

周囲の人たちと協力して取り組むことがとても大事だと感じた。  
地域の活性化につながる訓練計画になりそう！

とても内容の濃い話し合いになったことで、自分の防災意識の向上につながったわ。

今まで知らなかった防災に役立つ情報が沢山知れてとてもよかった！



## 古井新町町内会でこれから取り組む防災企画

地域で取り組みたい防災活動について、参加者で投票して順位を決めました。  
このアイデアをもとに、令和5年度から古井新町町内会の防災企画を進めます！

### 1位 車中泊訓練「キャンプマイカー」

- ・車中泊のリスクや、車中泊に役立つ物を学ぶ講習会を開催。
- ・訓練には、車中泊の他に非常用トイレや非常食づくりといった内容も盛り込む。
- ・訓練に参加しやすいように、キャンプファイヤーなどのレクリエーションも実施。



令和5年10月実施予定！



### 2位 簡易トイレの使い方、準備の仕方

- ・簡易トイレの作り方、凝固剤等の使い方を学ぶ講習会を開催。
- ・学んだことを自宅実践し、凝固剤以外で排泄物を処理する方法を検討。
- ・避難訓練で簡易トイレづくりのコーナーを設置するとともに、マンホールトイレの展示や、井戸水を提供できる世帯の募集を行う。

### 同率2位 災害時の避難の支援マップの作成

- ・ひとりで逃げるのが難しい方で、希望する方の情報をマップにまとめる。マップは毎年更新する。
- ・避難誘導時に役立つ車いすや資器材のリストを作成。
- ・避難行動要支援者の避難誘導方法を学ぶ講習会を開催。



### 4位 身近にあるものを使った搬送訓練

- ・災害事例や、身近にあるものを使ったけが人・病人の搬送方法を学ぶ講習会を開催。
- ・幅広い層の住民に訓練に参加してもらう。特に避難行動要支援者にはチラシを持って直接訪問し、内容を丁寧に説明の上で訓練を実施する。



### 5位 非常時の調理体験「闇カレー」と「パックスッキング」

- ・町内会の備品と参加者が自宅から持ち寄った調理用具や食材を使って、五徳山で「闇カレー」と「パックスッキング」を実施する。
- ・会場には防災食や、「ローリングストック法」に関する展示をし、家庭での備えに繋げる。



## 計画の策定支援をした

### NPO法人レスキューストックヤードからのメッセージ

地域の多様な人たちのアイデアが活かされたバラエティのある計画となりました。どの地域でも、要配慮者の参加を募ることは簡単ではありませんが、地域からの粘り強い声かけと共に、近隣福祉施設等から看護や福祉の専門職の協力を得るなどして、安心して参加できる環境づくりに努めましょう。

また、車中泊は良い面、悪い面をきちんと周知し、避難世帯の把握や困りごとへの対応など、車中泊者同士で協力できる役割分担や訓練内容についてもさらに検討できるとよいでしょう。